

面接の手引き

山澤成康

(1) 面接とは？

- ・熱意、意欲、態度などをみる。ゼミや会社のPRの場合でもある。
- ・学力試験ではない。→しかし、ある程度学力もわかる。
- ・人を評価するのは難しい。(面接の可否で人生が変わる可能性も(就職試験の場合))
- ・運も左右する(面接者にもさまざまな人がいて、相性の良い人悪い人がいる)
- ・面接不要論(15分から20分面接した評価と、応募者が部屋に入るところ、面接担当者と握手するところ、座るところを録画したビデオ(15秒間)の評価に強い相関)¹。
- ・「良い社員になるはずの人が不採用でも会社にはダメージがあるわけではない。問題のある人を採用するとダメージになり、それを除去するのには時間がかかる。」²

(2) 面接を受ける側の注意

- ・時間厳守
- ・声は大きめで、難しい質問でもとにかく答える(沈黙しない)。
- ・分かりやすく説明する。

必ず聞かれる質問

- ・動機(なぜこのゼミを選んだか、なぜこの会社を選んだか)
- ・長所と短所(短所と長所は裏返しの関係)
- ・当日の新聞の内容、最近のニュース
- ・授業以外の活動(サークル、アルバイトなど)

(3) 面接する側の注意

- ・リラックスして面接できるように気を配る
- ・動機が重要(あいまいさがないか注意深く話を聞きだす。突っ込んで話を聞く)
- ・違う応募者に対しても同じタイプの質問をする(他の学生と比較ができない)。
- ・多少変化を持たせる(学生が友達どうしの場合、面接情報が流通する場合もある)。
- ・低い評価をする時は明確な理由をつける(「どうして落ちたのか分からない」という不満が残る)。
- ・政治、宗教に関する話は質問しない。

¹ ウィリアム・パウンドストーン(2003)「ビル・ゲイツの面接試験」青土社

² 同上。

過去の面接から

Q. 「1 分間で自己紹介してください」

- ・ 名前を言ったまま、だまったまま。(1 分間って言ったのに...)
- ・ 私の性格を一言でいうと優柔不断なところ。(自分のアピールになってない)
- ・ なぜか志望動機を述べ始める学生が多い。

Q. 「今朝読んだ新聞で興味を持った記事を挙げて下さい」

…読んで来なかったり、テレビのニュースですませようとしたりする学生がいる。

Q. 「では、最近のニュースで興味を持ったものを挙げて下さい」

- ・ 1 面トップの記事を挙げる学生が多く、感想もあまり印象に残らないものが多い。
- ・ みんなが言いそうな感想は、聞いている側からすると「またか…」という感じ。

Q. 「自己紹介してください」

A. 「私の性格は一言でいうと、飽きっぽいことです。」(長所から言うべき)

Q. 「では長所は何ですか？」

A. 「長所は、粘り強いことです」(...ん?)

Q. 「短所と長所が矛盾してませんか？」

A. 「あ、じゃあ飽きっぽいのは取り消します」

Q. 最近関心のあるニュースは何ですか

A. 静岡（ほんと和歌山）の立てこもりです

Q. 立てこもりとは何ですか

A. 人質をとってたてこもった事件です

Q. そのニュースでどう思いましたか

A. 特に...感想はありません

・ 1 問 1 答方式になれているのか、質問にとりあえず答えれば良いと思っていて、質問者の意図（学生がどんなことに興味をもっていて、何を考えているのかが知りたい）がわからない学生が多いようです。

・ 具体的に人にわかりやすく説明する訓練も必要です。「好きな音楽は、洋楽です」ではイメージがつかめない。アーティストまで言うべき。